

平成24年11月3日（土）

「科学の祭典 サイエンス屋台村」に出展

11月3日（土：文化の日）、釧路市こども遊学館を会場に、青少年のための科学の祭典釧路大会サイエンス屋台村（主催：NPO法人北海道科学活動ネットワーク）が開催されました。

この催しは、科学教育者などが実験を通じて児童・生徒に科学のおもしろさを知ってもらうことを目的に、北海道教育大学釧路校等の教育機関や釧路地方气象台等の行政機関31団体・35演題を設け、主に物理、科学分野の演示実験や体験教室が開かれました。

当センターからは、アクリル封入された稚樹・葉・種子や木片などを、デジタル顕微鏡で拡大して観察を行う生物分野の体験ブースを出展しました。

参加した子ども達は、木片の木目やドングリの殻斗（ぼうし）、アクリルの中に入った紅葉などを拡大して見るたびに、驚きの声を上げながら夢中で観察をしていました。観察し終えた子ども達からは、たくさんの「楽しかった！」の声が聞かれました。



観察する子ども達



観察用のアクリル標本や木片